

あなたが写っていませんか？ 広報紙に掲載した写真は、広報課で撮ったものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

トピックス TOPICS



手作りのプランターに苗木を移植しました

森林を守り育てる気持ちを大切にしよう  
植樹祭で上田埼玉県知事が苗木を移植

4月29日(みどりの日)埼玉県植樹祭 みんなで森をつくる集いが赤坂の森公園で行われ、650名が参加しました。会場では、平地林の植物や生き物を探る自然観察やゲームで楽しみながら自然の不思議を学ぶネイチャーゲーム、木を使って自分だけの作品を作る木工教室、三富新田の歴史や農家と平地林の関わりを学ぶ三富探検隊など、学び・遊び・体験するさまざまな活動が行われました。また、会場近くの雑木林では小さな苗木を助けようと、上田埼玉県知事や仲川市長などが日陰に残るクヌギ、コナラなどの苗木を移植しました。参加した人たちは、自然の大切さを感じ、森を守る気持ちを強くしていました。

●元気に泳げ こいのぼり

4月23日(金) 中央児童館で親子が参加して、こいのぼりを作りました。でき上がった色とりどりのかわいらしいこいのぼり、5月の青空を今にも泳ぎ出しそうでした。



●鉢の中には根がぎっしり！

美しい花を咲かせたい 洋らんの手入れ  
4月17日(土) 都市緑化植物園で洋らんに花を咲かせるための講習会が開催されました。洋らんの花を咲かせるためには、2～3年に1度植え替えを行わなければならない、当日は講習のほかに植え替えの実技も行いました。参加者はお互いに協力し合い、来年美しい花が咲くことを思い描きながら、一生懸命取り組みました。

●犬も大切な家族の一員

予防注射で狂犬病を防ぎます



4月5日から5月8日まで、市内18か所の会場で狂犬病を予防するための集合注射が行われました。今年注射を受けた飼い犬は、約4,500頭。会場は行列ができるほど混み合うときもあり、中には注射を怖がり逃げてしまう犬も見受けられました。

列ができるほど混み合うときもあり、中には注射を怖がり逃げてしまう犬も見受けられました。





キビタキ  
 (スズメ目ヒタキ科)

全長約13cm。黄色い胸を張り、軽やかにさえずる広葉樹林を好んで生活する鳥です。夏鳥として全国に渡

来しますが、春と秋の渡りのときには市内の林や市街地でも見ることができます。繁殖期がポツピリ、ピロロピロロなど、変化に富む美しい声で鳴きます。

## 富士見小学校



●「野菜くんは元気かな」農園は30年続く学校の伝統正門前の農園では、夏はじゃがいも、秋は大根、そのほか季節の野菜を育てます。1年生から6年生までが毎日交替で世話をし、できた野菜は生活科や理科で使うほか、家に持ち帰って家族と季節の味を楽しみます。また、秋には大根まつりが行われ、どのクラスの大根が一番大きいかを競います。

●ペア学級 お兄さんお姉さんができたみたい!!

毎週水曜日の2時間めと3時間めの休み時間は、1・6年生、2・4年生、3・5年生が1年を通して1対1のペアを組み過ごします。まるで兄弟や姉妹のように、みんな仲良く遊んでいます。



11月に行われる 富士見っ子まつりにも、ペア学級で参加します

●「茶の木賞」と花いっぱいコンクール」で表彰  
 狭山市コミュニティ推進協議会では、日ごろから住みよい地域社会の実現のために地道な活動を続けている市民や団体に「茶の木賞」を贈りました。また「花と緑のまちづくり」事業の一環として行われた、第1回花いっぱいコンクールで最優秀賞を受賞した方々を表彰しました。皆さんおめでとうございます。



茶の木賞/個人 芦沢正幸 荒川滋彦 太田稔夫 奥富光平 川井春三 国田はる 小寺信子 関口安子 西宮政雄 細田律子 本多幸子 吉沢重夫 団体 金井クラブ 狭山市交通安全母の会富士見地区 狭山放送劇団ヴォーチェの会 匠の会 田中寿会 わくわく自然園を守り育てる会  
 花いっぱいコンクール最優秀賞/鉢部門松永ワカエ 庭部門住石紀代子 店舗部門荻野里江 学校部門入間野中学校 特別賞増嶋ふみ子 いずれも敬称略

●博物館の茶席で一服  
 気軽な雰囲気体験できて好評です



4月11日(日)狭山で作られた抹茶「明松」を、難しい作法にとらわれず気軽に味わってもらおうと、博物館の茶室で茶席体験が行われました。茶室には友だち同士や家族連れなど大勢の方が訪れ、着物姿の席主に振る舞われたお茶と和菓子を思い思いに楽しみました。茶席体験は毎年行われており、今年度も来年3月までに6回行われます。皆さんもぜひ、茶どころ狭山ならではの催しに参加してみませんか。